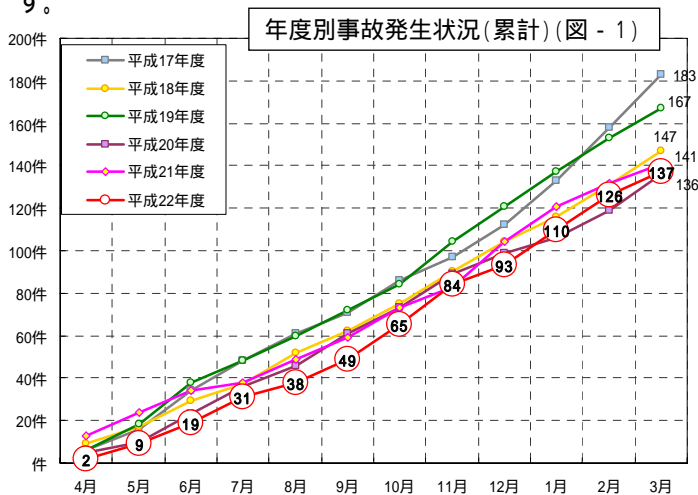


# 平成22年度 直轄工事の事故発生状況（3月末速報値）

（ 港湾空港分を除く ）

平成22年度における事故発生件数（速報値）は137件で、もらい事故を含めると228件でした（図-1）。昨年に比べ4件減少し、過去5ヵ年と比較すると下位の発生件数ですが、重大な公衆災害（2件）や死亡事故（1件）も発生しています。



平成22年度の事故発生件数は、図-1のとおり昨年度から4件減少し137件発生した。過去5ヵ年で下位の発生件数であった。

履行中の工事件数が、昨年度の1,868件から1,639件と約13%減少しているが、**事故発生率は昨年度の7.5%から8.4%に増加**。

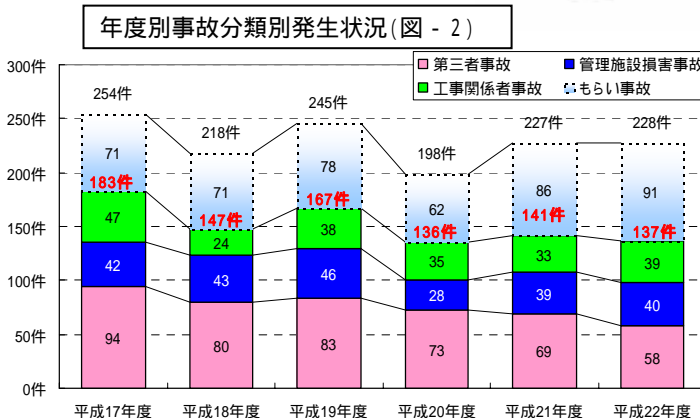
（ 事故発生率 = 事故件数 / 工事履行中件数 ）



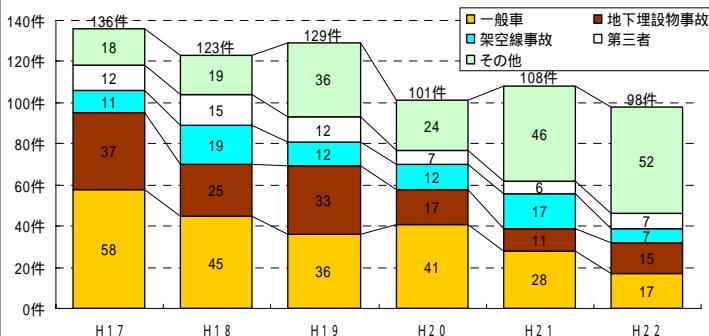
もらい事故が昨年から5件増加して91件となり、過去5ヵ年で最も多い発生状況であった。

**工事関係者事故は昨年から6件増加し39件となり、平成17年度に次ぐ発生件数であった。**

公衆災害(第三者事故 + 管理施設損害事故)は、依然事故全体の7割以上占めている。



年度別公衆災害事故発生状況(図 3)



公衆災害事故の発生状況

一般車等に対する事故が11件減の17件、**架空線事故が10件減の7件と大幅に減少**し、いずれも過年度最少。

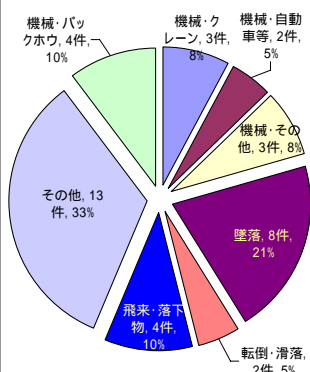
**地下埋設管事故が昨年から4件増加し15件であった。**

H22年度の公衆災害事故における重大事故

共聴テレビ(約600世帯)が8時間不通となる架空線(光ケーブル)の切断事故が発生。

橋梁主鉄筋を約30m間切断し、約1ヶ月間国道の通行規制が生じた事故が発生。

工事関係者事故の事故形態別発生状況(図 4)



発生形態は、**墜落が8件で最も多い**。

休業が生じた熱中症が6件発生。

(過去4年間発生なし)

昨年に比べ、死亡者は3名減の1名、重傷者は2名増で15名であった。

死亡事故の発生状況

湖面清掃において清掃船からロープを受け取る際に作業員がダム湖に転落、水死。

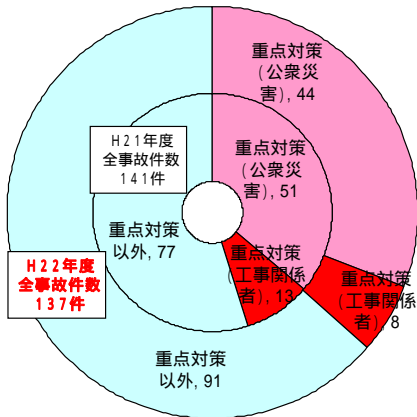
重傷者の事故発生内訳

- 墜落: 5件 内訳: ハジゴ2件、足場2件、高所作業車1件
- 飛来・落下: 1件 内訳: 仮設鋼材(荷崩れ)1件、
- 機械・クレーン: 3件 内訳: エリック車(玉掛ミ)1件、クレーン(吊荷接触)1件、ケーブルクレーン(機械内部接触)1件
- 機械・バックホウ: 1件 内訳: バックホウ(水路転落)1件
- 機械・自動車等: 2件 内訳: コンクリートポンプ車(配管接触)1件、規制車(標識操作)1件
- その他: 3件 内訳: ハンマー(破片飛散、接触)2件、仮設鋼材(接触)1件

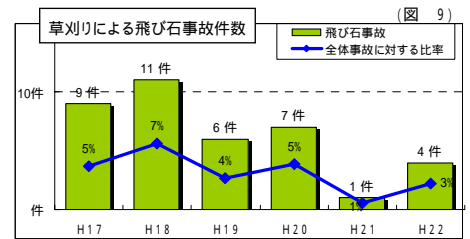
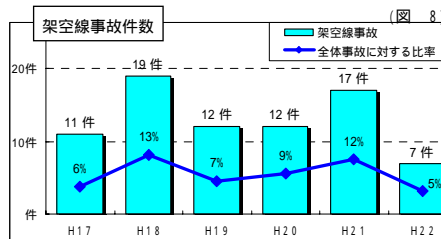
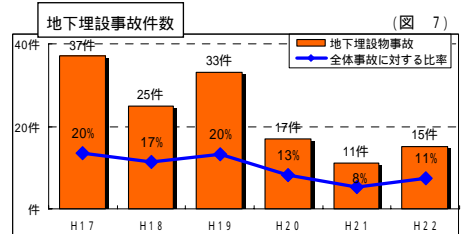
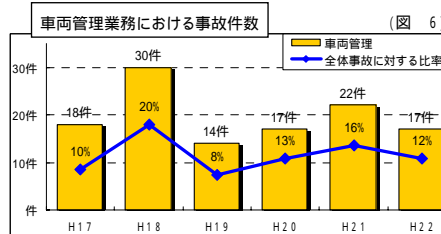
(裏面につづく)

# 平成22年度における工事等事故防止重点対策の結果

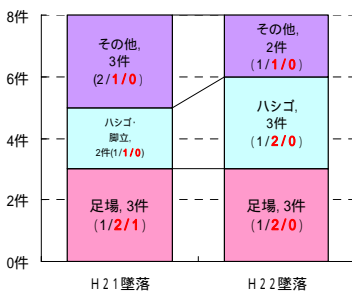
事故防止重点対策項目における事故発生状況(図-5)



H22年度の事故防止重点対策に該当する事故は図-5のとおり44件発生しており、件数・率ともに昨年度に比べ僅かに減少しています。しかし、重大事故や重篤な人身事故が依然発生しており、安全対策のより一層の徹底を図るため、平成22年度重点対策項目に「梯子からの墜落事故」を追加し、新たに平成23年度の工事等事故防止重点対策項目を定めました。



墜落事故の内訳(図-10)



公衆災害事故における重点対策項目では、昨年の51件から44件に減少。(図-5)

車両管理業務における事故(図-6)及び架空線事故(図-8)は減少したが、**架空線事故において重大事故が1件発生**。

地下埋設管事故(図-7)、草刈りによる飛び石事故(図-9)は再び増加。

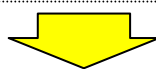
工事関係者における重点対策項目全体では、昨年度13件から8件に減少。(図-5)

墜落事故全体では昨年とほぼ同様の事故発生状況(図-10)だったが、**梯子からの墜落事故において件数及び重傷者数が増加**した。

# 平成23年度近畿地方整備局における事故防止重点対策項目

1. 車両管理業務における事故防止
2. 地下埋設管に対する事故防止対策
3. 架空線に対する事故防止対策
4. 草刈りに関する飛び石事故防止対策
5. 足場・**梯子**からの墜落事故防止
6. 資材・仮設材及び工具の飛来落下事故防止
7. 重機との接触事故防止

**赤字部**は H23 年度新規追加



**事故防止重点対策に係る事故が発生した場合の指名停止等の取り扱いについては、従前の措置より厳しくなりますので、工事安全対策の一層の徹底を図ってください。**



**事故のない安全な現場を目指そう!**